

CiNii Books ユーザから見た

CiNii Research における CiNii Books 機能統合について

岡田智佳子

特定非営利活動法人大学図書館支援機構

国立情報学研究所（NII）が提供する CiNii は、論文、図書・雑誌、博士論文などの学術情報を検索できるデータベース・サービスである。現在は、全国の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌の情報を検索できる CiNii Booksⁱと、論文や目録情報に加え、研究データやプロジェクト情報などを統合的に検索できる CiNii Researchⁱⁱで構成されており、学術情報流通を支える基盤的サービスとして広く利用されている。

NII は、CiNii サービスのさらなる発展を目的として、CiNii Books の機能を CiNii Research へ統合する方針を示し、2026 年 3 月に機能統合を完了したⁱⁱⁱ。CiNii Books は約 1 年間の並行稼働期間を経て、2026 年度末にサービスを終了する予定である。

この統合プロセスにおいて、NII は「図書館総合展 2025 フォーラム」^{iv}や「NII 学術情報基盤オープンフォーラム 2026」^v等を通じて、統合後のサービス像を示してきた。しかし、「機能統合」は CiNii Books の機能がそのまま CiNii Research へ移行されることを意味するものではなく、図書館総合展 2025 フォーラムでは参加者から多くの質問や要望が寄せられた。

本発表では、CiNii Research への機能統合によって、実際の資料検索環境がどのように変化しているのかを、CiNii Books 利用者の視点から報告する。特に、CiNii Books で利用できる機能のうち CiNii Research では利用できなくなったものと、新たに利用可能となったものを整理し、CiNii Books サービス終了後を見据えた利用者側の注意点について検討する。

あわせて、CiNii Books の基盤である総合目録データベース（NACSIS-CAT）の現状についても報告する。近年、NACSIS-CAT 参加館において総合目録データベースへの所蔵登録を控える動きがみられ、CiNii 上では確認できない所蔵情報がカーリル^{vi}などの OPAC 横断検索サービスでは確認できる事例も生じている。こうした動向は、NACSIS-CAT の網羅性や信頼性に影響を及ぼすものであろう。

ⁱ <https://ci.nii.ac.jp/books/>

ⁱⁱ <https://cir.nii.ac.jp/>

ⁱⁱⁱ <https://support.nii.ac.jp/ja/news/cinii/20260330>

^{iv} 「CiNii Research の統合と展開」 <https://www.nii.ac.jp/event/other/libraryfair/2025/>

^v 「OA 時代の CiNii に向けて」 <https://service-event.nii.ac.jp/openforum/detail/27>

^{vi} <https://calil.jp/>